

小学1・2年生向け

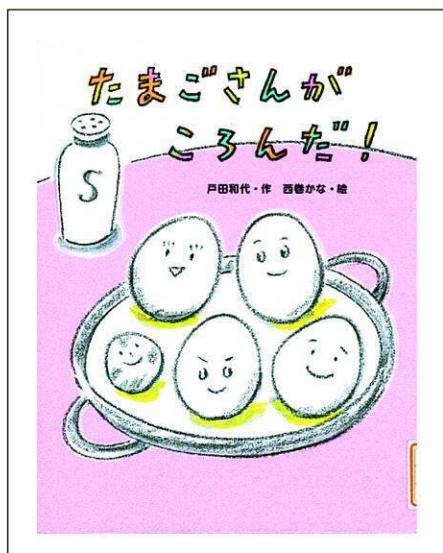
たまごさんがころんだ！

とだかずよさく にしまきえ
戸田和代作 西巻かな絵

冷蔵庫の中で卵たちが「いやだよー」と泣いています。卵たちには、おいしい卵かけご飯やプリンになりたいという夢があるのに、他の食べ物たちから「ここのおかあさんは、料理がへただぞー」「たまご料理は、目玉焼きだけなんだって」と聞いたのです。次の日、冷蔵庫から出された卵たちは「よし、にげるなら今だ！」

と思いませんが、どうしても動くことができません。すると棚の上から見ていただけるまが、自由に動けるようになるおまじないを教えてくれます。おまじないにはルールがありました。「だれにもいうんじゃないぞ」「だれも見てないときにしか、うごけないぞ」。さて、卵たちがおまじないを言うと……。

(校成出版社 1320円)



小学3・4年生向け

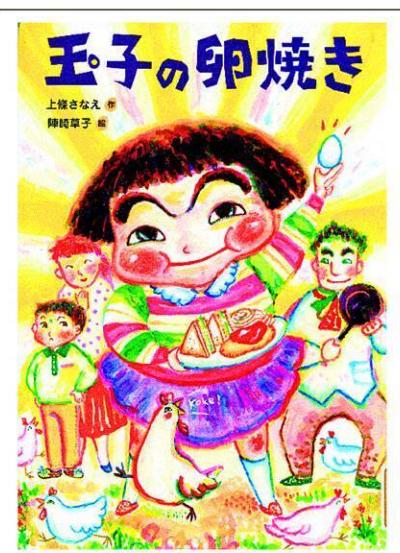
玉子の卵焼き

かみじょうさくじんさきそうちえ
上條さんえ作 隈崎草子絵

小学校4年生の俊英にはたまごという双子の妹がいます。玉子は勉強も、運動も、音楽も苦手ですが、むねははどうどう胸を張って堂々としています。よく同級生とけんかをするし、2人は双子なのに自然似ていません。俊英は4年生の中でちょっとした有名人たまごはおもふたの玉子を恥ずかしいと思い、なぜ双子の妹なのかと悩んでいます。

二人のおじさんは先祖代々続く養鶏

場を経営していて、その安全でおいしい卵を食べて育った玉子は、卵が大好きです。ある日、玉子がオムレツ専門店で使われている卵を当てるイベントに参加することになりました。玉子に味の違いがわかるでしょうか？ シェフのパパと特訓をして、いよいよイベントの日を迎えます。



(文溪堂 1430円)

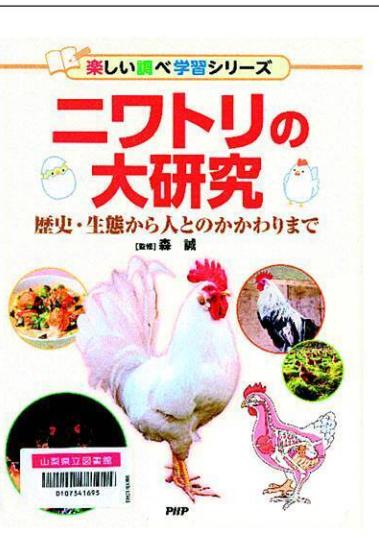
図書館へ
ようこそ

小学5・6年生向け

ニワトリの大研究

歴史・生態から人とのかかわりまで
もりまことかんしゅう
森誠監修

ニワトリは、ほぼ毎日卵を産みます。なぜ、毎日のように卵を産むことができるのでしょうか？ その秘密には人間が関わっています。卵の黄身にはひなが育つための栄養がたくさんあるので、人間にとっても栄養満点の大事な食材です。そこで人間は、ニワトリから卵をたくさんとるための品種改良を開きました。今では、ほぼ毎日卵を一つずつ産むニワトリや、卵を産んでも抱いて温める習性がないニワトリを、採卵用に飼うようになりました。他にニワトリの体のつくりや卵の育ち方、食用以外の卵の利用法など、写真とイラストを使って、わかりやすく紹介しています。ニワトリや卵について疑問がある人は、この本で調べてみませんか。



(P H P研究所 3520円)



料理に変身 ニワトリの卵

おいしくて、栄養がたくさんあるニワトリの卵は、卵焼き、卵サンド、プリンなどいろいろな料理に変身します。卵が登場する物語・エッセーと、ニワトリと卵について分かる本を紹介します。

(山梨県立図書館 山田あや)

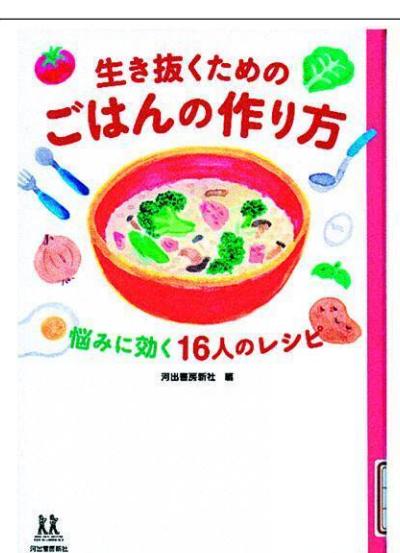
=毎月第2週に掲載します

中学生向け

生き抜くためのごはんの作り方
悩みに効く16人のレシピ

河出書房新社編

この本は16人の料理のプロが、中学生向けに「便秘」「食欲がない」「ストレスが溜まっている」「不安」「集中できない」などの悩みに効く簡単なレシピを、エッセー付けて紹介しています。例えば緊張している時のためのレシピは、料理研究家の枝元なほみさんが紹介してくれます。枝元さんは緊張している時は「やわやわと優しい食べ物」が食べたくなるので、「プリンなんかどうですか」とおすすめしています。プリンは卵、牛乳、砂糖だけで作ることができます。エッセーの次にレシピが載っています。あなたの悩みを解決してくれるレシピがあったら、ぜひ作ってみてください。



(河出書房新社 1562円)